

中央大学リーガル・キャリア・サポート委員会主催
業務・採用等説明会（2014年5月28日開催）

横浜ゴム株式会社

中央大学法科大学院では、リーガル・キャリア・サポート委員会を組織し、在学生・修了生のみみなさんに対して進路決定・就職に関するサポートを行っています。

今回の「業務・採用等説明会」は、横浜ゴム株式会社グローバル人事部グローバル化推進グループ採用チームの浅井雅弘さん、法務部文書審査グループグループリーダー小島亮介さんにおいでいただき、企業の概要と法務部についてお話を伺いました。



まず、会社の概要として、創業以来の歴史について、横浜の高島町で創業したので横浜が社名になっていること、鶴見から新橋と本社が移っていること、現在のタイヤの世界シェアは第8位で約3%の生産量であること、日本で初めてタイヤにエコの考え方を取り入れた製品を開発したこと、中期経営計画「GD100」を策定し、海外展開と環境貢献に注力している

ことなどのお話がありました。

グローバル人材育成については、総合職の新人研修を入社後半年間かけて行っていると説明がありました。集合研修、生産研修、販売研修が各1か月あり、中でも全員が海外事業所で2ヶ月間の研修を受けるとの説明に、世界中がマーケットになっていることを改めて認識しました。



若手社員の海外出張はもとより、今後、中堅以上の社員の半数程度が海外駐在を経験することになるとのことで、既にTOEICの点数が昇進の条件になっているそうです。

来年4月入社の採用については、約40名程度であり、事務系は約15名とのことでした。昨年の採用選考で中央大学法科大学院修了生が内定し、その期間中に司法試験に合格したため現在は司法修習中で、終了後に改めて入社意思を確認することとなっているとのことでした。

法務部は文書審査・渉外・部付に分かれており、各種契約・文書のドラフティング・M&A等の大型案件を担当しているとのことでした。法務部員に必要なスキルは、*法律知識、*事業知識、*コミュニケーションスキルであり、特に自動車部品関連の製造業の法務部に行くのであれば、英語は必須であり、入社2~3年後にはTOEIC800点くらいは取ってほしいとのことでした。法律で会社の利益を守るスペシャリストになれるのがやり甲斐とのお話がありました。

リーガル・キャリア・サポート委員会では、今後も講演会等のイベントを実施していきます。在学生また修了生のみみなさん、積極的にご参加ください。